

余土地区タウンミーティングでいただいた意見等と市の回答

☆	項目	意見の内容	対応可能性と 対応時期	対応策または 不可能な理由等	担当課
1	施設整備	余土は公民館の先駆けの地。絆を深めるためには集わなければならない、人の融和を図るには集うことが肝心だが、元の公民館は小学校の体育館になっている。中学校の講堂の位置に住民の集える施設を作してほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	公民館の移転につきましては、余土中学校の移転問題と合わせた協議が必要であるため、「余土地区まちづくり協議会」と共に協議を重ねたいと考えております。	教育委員会 学習施設課 小西 潔 948-6873
2	中学校移転 施設整備	<p>中学校の移転については、学校は地域の大切な基盤であり、危険を伴う学校の状況についてももう少し意を注いでいただきたい。</p> <p>中学校は、ハード面は整っていないが、ソフト面は先生が一生懸命やって成果を上げている。そういった点も十分汲み取ってほしい。</p> <p>余土地区のハード整備については、中学校の整備問題が片付かない限り進展が難しい。この1・2年の間に総合的なハードの問題について協議させていただいて、地区の皆さんによくやったなといわれるようなものを作り上げたいと思っている。保育所も含め、子どもたちが幸せになれる地域にした</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>余土中学校の整備に関する早期計画・実行につきましては、余土中学校は道路で3分割されており用地が手狭であることから、平成4年に地元からの要望を受け、校舎の移転も考慮に入れた運動場用地を購入しグラウンド整備を行い、学校の移転は平成18年以降をめどとしていました。その後、地元団体である「余土地域活性化検討委員会」より平成18年9月5日、余土中学校の早期移転に関する具申書が松山市教育委員会に対して提出されましたので、教育委員会事務局が平成19年4月23日に検討委員会において具申書への中間報告を行なっております。</p> <p>教育委員会としましては「余土地区まちづくり協議会」の中で、余土中学校の移転構想、教育環境(小中一貫教育・生徒数の変動)・社会情勢(余土地区のインフラ整備・松山市の財</p>	教育委員会 学習施設課 岡 健二 948-6585

		<p>いので、全面的な協力をいただけるならば協議会としても安心して協議に臨めると思っている。</p> <p>交通の便が非常によいので、教育センター的な施設整備をしていただければ、地域の住民も利用できる。南西地域の一つの中心として余土を活用していただきたい。</p>		<p>政状況)など総合的な観点で、地元と協議を重ね、両者で方向性を見出したいと考えております。</p>	
3	水問題	<p>財政が厳しいなかで水問題の500億円というのはどこから出てきたのか。それをどうにかした方が施設整備に回せるのではないか。</p>	<p><input type="checkbox"/>可能</p> <p><input type="checkbox"/>対応済</p> <p><input type="checkbox"/>即時対応(年度内)</p> <p><input type="checkbox"/>次年度以降</p> <p><input type="checkbox"/>未定</p> <p><input type="checkbox"/>不可能</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>水問題は、本市の最重要課題の一つであり、どうしても解決する必要がありますが、いずれの方策をとるにしても、必ず、水道料金のアップという形の新たな負担が必要となります。</p> <p>このため、石手川ダムのかさ上げや下水処理水の再利用など、想定できる19の方策について、安定性やコストの面から総合的に検討を加えた結果、まずは水道料金に与える影響が最も少ない黒瀬ダムからの分水を最優先に進めています。</p> <p>なお、350～420億円と想定している事業費については、愛媛県が公表している西条工水の資産価格などをもとに本市が独自に算定したのですが、事業化にあたっては、国庫補助金をはじめとした有利な財政措置を活用するとともに、できる限り民間の活力を利用することで事業費の縮減を図る予定です。</p>	<p>水資源担当部長付 花山 康司 948-6947</p>

4	まちづくり	<p>地域の色々なことを知らない地域を愛することにはならない。昔、各公民館でビデオを作ったことがあり地域の様子がよく分かる。市でそれぞれの地域の魅力をDVD化してもらえると、地域を知ることができる。是非お願いしたい。</p>	<p><input type="checkbox"/>可能 <input type="checkbox"/>対応済 <input type="checkbox"/>即時対応(年度内) <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>未定 <input type="checkbox"/>不可能 <input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>現在、松山市では住民主体のまちづくりの取り組みを進めています。これからのまちづくりを考え、まちづくり計画を策定するにあたっては「まち歩き」を行い、実際に歩いて、目で見てその素晴らしさに触れることが大切です。各地域において取り組んでいただいて、そこで発見された地域の魅力を記録するなどしていただきたいと考えております。</p>	<p>市民参画 まちづくり課 矢野 和喜 948-6963</p>
5	防災	<p>防災について、松山市が震災に遭うとどういう状況になるのかという情報を専門的な視点から公開と専門家の派遣をしていただきたい。それをもとに住民大会、説明会をやって行きたいと考えている。それをベースに自分たちに何ができるか、地域の社会資源、組織と連携をとっていこうと思う。ただ、住民では難しいところについては行政と連携していきたいので、協力をお願いしたい。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>可能 <input type="checkbox"/>対応済 <input type="checkbox"/>即時対応(年度内) <input type="checkbox"/>次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/>未定 <input type="checkbox"/>不可能 <input type="checkbox"/>その他</p>	<p>県が作成している防災アセスメントに基づき松山市で作成している「地域防災計画」の中で、避難所の設定や備蓄物資の確保などの対応を市域全体として進めており、今後国が見直しております防災計画の中で、タイミングを見ながら松山市の防災計画の見直しを図っているところです。</p> <p>避難場所や備蓄物資、余土地域がどういった被害があるかなどについては、防災マップを参考に、地震に対する意識向上や地域住民皆さんが対応する姿勢などについて、取り組んでいただけたらと思います。</p>	<p>消防局 防災対策課 池田 篤司 926-9137</p>

6	まちづくり	<p>余土地区で一くくりにされると保免・市坪は端っこになってしまう。まちづくり協議会では手に負えないほどの要望が出ており、なかなか消化できない。住民から見ると一向に進展がないということになる。アドバイスをいただきたい。</p>	<p><input type="checkbox"/>可 能</p> <p><input type="checkbox"/>対応済</p> <p><input type="checkbox"/>即時対応(年度内)</p> <p><input type="checkbox"/>次年度以降</p> <p><input type="checkbox"/>未定</p> <p><input type="checkbox"/>不可能</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>まちづくり協議会の活動に対する人的支援としては、地域においてまちづくり活動の核を担う人材の育成を図る講座や各地区の協議会の活動状況の報告や意見交換を図る意見交流会の開催、勉強会等への講師派遣などを実施しております。</p> <p>また、それぞれのまちづくり協議会には担当職員を配置し、各種会合に出席するなど地域と皆さんとの信頼関係を築きながら活動をサポートする体制を整えております。</p> <p>地域の課題や魅力など幅広い地域の意見の集約、合意形成については、十分にご議論いただきながら、住民の皆さんの総意としてまちづくりの方向性を見出し、計画を策定していただきたいと思っております。</p> <p>市といたしましても、住民の皆さんが主体となって策定されたまちづくり計画につきましては、市としてしっかりと受け止め、協働のまちづくりを進めていくこととしております。</p> <p>協議会活動でお困りの点については、具体的にご相談いただければ、必要な助言、サポートなど対応できるものと考えておりますのでご相談ください。</p>	<p>市民参画 まちづくり課 矢野 和喜 948-6963</p>
---	-------	---	--	---	---

7	施設整備	保免は何も公共機関がない。地域の温度差があるわけであり、市も目配りしてもらいたい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>車社会の進展によって、路線バスの運営は厳しい状況となっており、保免地区を運行している「松山中央公園線」におきましても、県・市からの補助金で赤字の一部を補い、維持確保している状況であります。ご指摘の通り、地域によっては、公共交通機関の利用にご不便をお掛け致しておりますが、現況での更なる充実は難しいと考えております。公共交通機関の維持確保のために、「松山中央公園線」の更なるご利用をよろしく願いいたします。</p>	<p>総合交通課 遠藤 敬二郎 948-6846</p>
8	施設整備	<p>保免にJRの駅を作れないか。市も県もJRもお金がないのは知っているが、高齢化が進むなど、長いスパンで環境整備を考えてもらいたいと思う。小村神社前駅の例で言うと1億2千万円、これを国・県・市・JRで分担すると3,000万円。積み立てなど捻出の仕方を工夫してほしい。</p> <p>お金がないといいながら市役所に冷暖房が入っているのは住民感情として成り立たない</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>JR四国に問い合わせをいたしましたところ、以下のような回答をいただいております。</p> <p>【JR四国回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保免地区に新駅を設置する場合は、設置費用は要望者（地元自治体等）が負担する請願駅となります。 ・一般的に、請願駅の設置は、JRにおいて周辺環境、費用、需要等について検討し要望者と協議して設置を決定するものでありますが、保免地区については市坪駅から1km程度しか離れておらず、新駅を設置すると列車のダイヤに影響が出る恐れがあることや、信号回路の新設に多額の費用が必要とすることなどから、設置は困難と考えています。 <p>以上の事から、松山市としましても新駅設置は困難であると考えております。</p>	<p>総合交通課 遠藤 敬二郎 948-6846</p> <p>松山駅周辺整備課 黒川 茂 948-6508</p>

9	施設整備 (公園)	J R 市坪駅周辺整備について、中央公園ができてから西側はよくなっているが、東側は取り残されている。是非、市坪に児童公園（街区公園）を作っていただきたい。市坪まちづくり協議会でも検討しており、ある程度まとまれば市にもお願いに上がりたい。申請順ではなく、必要度に応じて優先的にやってほしい。	<input checked="" type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>街区公園の設置につきましては、周辺環境や既設公園との配置等、一定の基準を考慮して設置することとしております。また、近年の財政状況等を考慮すると事業を行うためには補助事業の活用が必要不可欠となっております。</p> <p>今後におきまして、整備するための方策等を検討し地域の皆さまと共に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	公園緑地課 竹本 勇 948-6854
10	施設整備 (下水道)	市道余土 122 号線の下水道の整備について、技術的には可能だが費用がかなり要るみたいだが、こういうところが他にもあると思うが、技術的にできないのか、計画しないのか、文書で返事をいただきたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>公共下水道の整備については、費用対効果を基に優先順位をつけて工事を進めており、当該区域は現在の予定では、平成 31 年以降に整備する区域です。</p> <p>しかしながら市道 122 号線の当該部分には 8 本の私道があり、松山市が申請に基づいて行う私道整備などを活用いただき、私道も含めた沿線の多くの方々が下水道につないでいただくことになれば、費用対効果が高くなり、優先順位も上がってまいります。</p> <p>市道沿線を一体で整備できる私道整備の申請は個人の財産が絡む制度ですので、まず、住民代表の方を選んでいただき、下水道整備課にご相談ください。</p>	下水道整備課 一色 禎仁 948-6754

11	まちづくり	中央公園を1日とか半日余土の住民が使えるようにしてほしい	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対 応 済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未 定 <input type="checkbox"/> 不 可 能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>中央公園につきましては、利用希望も多いこともあり、なかなか希望通り使用できない状況であることや、全市民を対象とした運動公園として整備した公園でありますので、中央公園が立地する余土地区の皆さんのご希望は理解できますが、特定の地域を対象とする日に一般開放することは、難しい状況です。</p>	<p>スポーツ振興課 橋 昭司 948-6525</p>
12	まちづくり (観光)	坂の上の雲の後のことを考えると余土の先人がいて、俳句の道など、バスを利用した観光、地域めぐりなど観光的な活動もできるのではないか。検討をお願いします。	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対 応 済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未 定 <input type="checkbox"/> 不 可 能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>旅行者の動向を考慮した場合、道後と松山城周辺を一泊2日で半日～一日 周辺の観光施設を巡っている状況を踏まえすと、現状では、時間・アクセスの関係から余土地区を行先とする旅行商品を単純に造成したとしても、旅行者の意向に沿ったものとはならない状況と思われます。</p> <p>観光客が是非、訪れてみたいと思う他の地域にない余土だけが持つ魅力があることが前提条件となりますが、句碑を巡る俳句の道は既に道後周辺にあり、バスを活用した観光についても、主要観光スポットを巡る周遊観光バス(マドンナバス)は運行済みであるなど、既に実施済みです。</p> <p>しかしながら、余土だけでなくこの地域にも、地元だからこそ気づいていない埋もれた魅力はあるはずです。</p> <p>まずは、地元住民が中心となって、地域資源を発掘、整理、活用し、地域の魅力を発掘・磨き上げていくことからはじめ、個々を繋ぐ</p>	<p>観光産業振興課 安井 晋 948-6555</p>

				まち歩きを地域活動の中で行っていくことが重要であると考えます。	
--	--	--	--	---------------------------------	--